



令和4年6月29日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
消防課	消防係	種村	内線2472 直通 058-272-1122 FAX 058-278-2549

熱中症(疑いを含む)による救急搬送人員数等の状況について(速報値)

岐阜県内における本日0:00~16:00までの間の熱中症(疑いを含む)による救急搬送状況の速報は下記のとおりです。

なお、救急搬送の状況は、最新のデータを使用していますが、あくまでも速報値であるため、後日修正することもありますのでご了承ください。

また、これまでの搬送件数については、岐阜県ホームページをご覧ください。

記

1 本日の搬送者数

消防本部名	搬送人員 (人)	年齢区分(人)					計	傷病程度(人)					計
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
岐阜市消防本部	5			1	1	3	5			2	3		5
大垣消防組合消防本部	2					2	2		1	1			2
可茂消防事務組合消防本部	2					2	2			1	1		2
中濃消防組合消防本部	1			1			1				1		1
多治見市消防本部	1					1	1				1		1
羽島市消防本部	1					1	1			1			1
不破消防組合消防本部	1					1	1			1			1
揖斐郡消防組合消防本部	3				1	2	3			2	1		3
養老町消防本部	1					1	1			1			1
飛騨市消防本部	1					1	1			1			1
計	18	0	0	2	2	14	18	0	1	10	7	0	18

本年度累計数	279	0	4	49	66	160	279	0	10	126	143	0	279
--------	-----	---	---	----	----	-----	-----	---	----	-----	-----	---	-----

(調査開始日(4月25日)から本日16:00までの累計数)

2 中等症以上の傷病者の状況

傷病程度	性別	年齢	状態	発生市町村	発生時間、現場の状況等
重症	女性	89	意識もうろう 熱感 紅潮 失禁	大垣市	8時03分入電。 5時30分頃、家族が様子を見に行ったところ、意識がもうろうとした状態であり、様子を見ていたが、改善しないため救急要請したもの。
中等症	男性	69	頭のふらつき 倦怠感	大垣市	13時58分入電 13時30分頃から、自宅アパートの駐車場に止めてある自家用車内で飲酒していたところ、頭がふらつき、体がだるくなってきたため本人が救急要請したもの。
中等症	女性	72	気分不快	養老町	10時54分入電 9時頃から自転車にて外出中、気分が悪くなり、路上で座っていたところ、近隣住民が救急要請したもの。
中等症	男性	56	倦怠感 下痢 頭痛	岐阜市	7時53分入電 昨日、仕事をしたあとから頭痛、発熱及び倦怠感が続いており、本日になって症状が悪化したため、同僚が救急要請したもの。

中等症	女性	72	意識もうろう	岐阜市	8時42分入電 自宅の玄関で倒れているところを、通行人が発見し、救急要請したもの。
中等症	男性	85	後頭部から出血あり 体が熱い	大野町	7時37分入電 7時30分頃、自宅前の道路上で倒れているのを近隣住民が発見し、救急要請したもの。
中等症	女性	55	痙攣している 会話不能 歩行不能	大野町	9時54分入電 路上で倒れているのを通行人が発見し、救急要請したもの。
中等症	女性	90代	意識もうろう 高体温(40.8℃)	羽島市	15時21分入電 庭先で倒れているのを家族が発見し、近隣住民を通じて救急要請したもの。
中等症	女性	89	体温40.6℃ 発汗あり 便失禁あり	白川町	11時31分入電 11時頃、自宅前の路上でうずくまっているのを近隣住民が発見し、家族に伝え、家族が救急要請したもの。
中等症	女性	84	発熱 体のふるえ	飛騨市	14時05分入電 体がふるえており、家族が体温を測ったところ40℃の発熱があったため、救急要請したもの。
中等症	男性	66	全身倦怠感 発熱 歩行不能	関ヶ原町	12時22分入電 朝から起き上がることができずにいるのを、訪問した社会福祉協議会の職員が発見し、救急要請したもの。

3 関連報告事項

4 これまでの搬送件数

岐阜県ホームページ「県内における熱中症の救急搬送者数の状況」をご覧ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/shobo/shobo-kyukyu/11193/necchusho.htm>

※岐阜県HP上で、「熱中症」と検索してもご覧いただけます。



★熱中症にかからないための注意点

- ・熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどが必要です。
- ・特に、高齢者は温度に対する皮膚の感情性が低下し、暑さを自覚できにくくなるため、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。

(年齢区分について)

新生児	生後28日未満
乳幼児	生後28日以上満7歳未満
少年	満7歳以上満18歳未満
成人	満18歳以上満65歳未満
高齢者	満65歳以上

(傷病程度について)

死亡	初診時において死亡が確認されたもの
重症	3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	重症または軽症以外のもの
軽症	入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病の程度が判明しないものなど

(留意事項)

- ・搬送状況は、各消防本部が熱中症(疑いを含む)と判断したものを県が取りまとめたものです。
- ・県及び消防本部では、医療機関へ搬送した後の傷病者の状態等の個人情報、本集計の対象外であるため収集していません。